

小田原の老舗かまぼこ屋の次男として1955年に生まれました。

ここで我が社の歴史を少しお話しておきましょう。

鈴廣ができたのは慶応元年(1865年)でした。初めは港で取れた魚を扱う魚商の傍らでかまぼこを作っていました。明治中期からかまぼこが本業の店になりました。本業を決断したのは六代目、鈴木廣吉。彼の時代に屋号が「鈴廣」に変わりました。

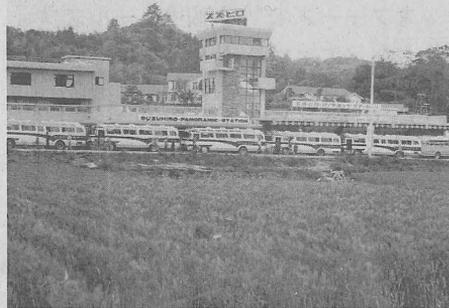
小田原は相模湾で魚がたくさん取れる宿場町でした。でも昔は箱根の宿に持って行くと鮮度が落ちてしまふ。腐敗を防ぐために、かまぼこが作られたと言われています。

かまぼこは魚をさばいた

再生エネの伝道師

②

鈴廣かまぼこ副社長
鈴木 悌介氏



当
初、まわりは田んぼだった
ドライブインができた

偉大な両親の背中追って

ました。祖父は昔ながらの
かまぼこ職人。一方、両親
は会社の近代化が成長には
必要と考えていました。
まさに映画「三丁目の夕
日」の時代設定のところで、
日本人もレジャーに関心を
持ち始めたころです。国道
1号で箱根に入る手前にド
ライブインやガラス張りデ
カまぼこを作る「見る工場」
を設けて、バス観光客や社
三越や高島屋など東京の
百貨店にかまぼ
こを納めたのも
両親でした。百
貨店ブランドの

り練ったりするのに大量の
水を使います。小田原はか
まぼこ作りに適した地下水
が豊富にありました。いい
魚と水という貴重な資源が
あったから、小田原でかま
ぼこ産業が発達し、鈴廣が
成り立ってきたのです。

私が生まれたとき、本社
は今の場所ではなく小田原
駅と相模湾の間にありまし
た。店舗の奥に工場があり、
商品のほとんどは市場に卸
断で、祖父は猛反対してい
ました。祖父は昔ながらの
かまぼこ職人。一方、両親
は会社の近代化が成長には
必要と考えていました。
まさに映画「三丁目の夕
日」の時代設定のところで、
日本人もレジャーに関心を
持ち始めたころです。国道
1号で箱根に入る手前にド
ライブインやガラス張りデ
カまぼこを作る「見る工場」
を設けて、バス観光客や社
三越や高島屋など東京の
百貨店にかまぼ
こを納めたのも
両親でした。百
貨店ブランドの

1962年に現在の場
所に本社を移し、ドライ
ブインと機械化した工場
も併設した。正月の箱根
駅伝の中継所でおなじみ
の場所だ。
本社移転は私の両親の決
名所になりました。
両親がドライブインを作
は海外でした。

1962年に現在の場
所に本社を移し、ドライ
ブインと機械化した工場
も併設した。正月の箱根
駅伝の中継所でおなじみ
の場所だ。
本社移転は私の両親の決
名所になりました。
両親がドライブインを作
は海外でした。

1962年に現在の場
所に本社を移し、ドライ
ブインと機械化した工場
も併設した。正月の箱根
駅伝の中継所でおなじみ
の場所だ。
本社移転は私の両親の決
名所になりました。
両親がドライブインを作
は海外でした。

1962年に現在の場
所に本社を移し、ドライ
ブインと機械化した工場
も併設した。正月の箱根
駅伝の中継所でおなじみ
の場所だ。
本社移転は私の両親の決
名所になりました。
両親がドライブインを作
は海外でした。